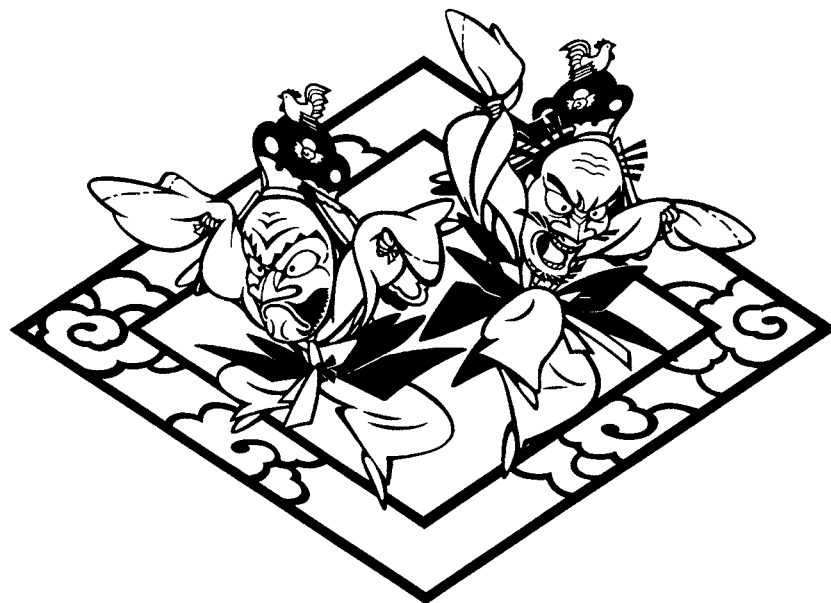


第60回 花巻市大迫郷土芸能祭



日時 令和4年11月20日(日)

午前9時00分開演

会場 花巻市大迫交流活性化センター

主催 花巻市芸術協会

主管 大迫町芸術文化協会

後援 花巻市・花巻市教育委員会

プログラム

開会行事	9:00~9:20(20分)	
1. 岩脇さんさ踊保存会(市指定)	9:20~9:40(20分)	さんさ踊
2. 八木巻神楽保存会(県指定)	9:40~10:10(30分)	岩戸開舞
3. 大迫高校神楽	10:10~10:30(20分)	三番叟
4. 岳神楽保存会(国指定)	10:30~11:00(30分)	天降りの舞
5. 八木巻さんさ踊保存会	11:00~11:20(20分)	さんさ踊
6. 春日流八幡鹿踊保存会(市指定)	11:20~11:40(20分)	一番庭
閉会行事	11:40~11:50(10分)	

1

さんさ踊

岩脇さんさ踊保存会 会長 浅沼文博

明治45年頃（1909）紫波町船久保の佐沼家先代佐沼丑蔵さんが伝えたものです。

丑蔵さんは、当時柁割（まきわり）職人として外川目で仕事をしていました。その時岩脇の佐々木家から妻を迎えました。おそらくこれが縁でさんさ踊が伝えられたのでしょう。

第二次世界大戦前後、一時途絶えましたが、佐々木久蔵さんらが中心となり、再度船久保から指導を受け、復活させ現在に至っています。

踊りは胸に太鼓をつけた太鼓打ち、ひょうたんを背中にぶら下げ頬かむり姿の一八、そして花笠をかぶり腰に3色の腰帯をつけた踊り手が登場します。

まず、一八が踊り手の先に立って一舞し、その後踊り手たちが後に続くように一斉に踊りだします。唄かけ、笛方は舞の輪に入らず、その横で演奏します。

演目には、「庭ならし」「さんさ踊り（ダンダンカドカド）」「キイキイカッコ」「ドドスコ」「庭はらい（ハラハラ）」「キッカドカット」「すれ違い」「田植え踊りくずし（ダンエ）」「引庭（ハラハラ）」「礼太鼓」などがあります。

岩脇さんさ踊りは他のさんさ踊りと違って非常に動きの激しいのが特徴となっています。

2

岩戸開舞

八木巻神楽保存会 会長 佐々木隆嗣

おなじみの神話「天の岩戸」を題材としています。天照大神^{あまてらすおおみかみ}は、弟の素戔嗚命^{すさのおのみこと}の乱暴^{らんぼう}狼藉^{ろうぜき}に怒り、天の岩戸にお籠もりになりました。天地が暗闇の世界となり、困った神々は相談し、岩戸の前に供物を並べ、天兒屋根命^{あめのこやねのみこと}が祝詞^{のりと}を奏し、天鈿女命^{あめのうずめのみこと}が岩戸の前で舞いました。不審^{ふしん}に思った天照大神^{あまてらすおおみかみ}が岩戸を少し開けると、控えていた手力男命^{たぢからおのみこと}が岩戸を引いて、天照大神^{あまてらすおおみかみ}をお迎えしたというお話です。

3

三番叟

大迫高校神楽 岩手県立大迫高等学校 校長 三田正巳

大迫高等学校学芸部神楽班は、平成28年度に創設され、「大償神楽保存会」からご指導をいただきながら活動し、平成29年度には正式に大償神楽の弟子神楽となりました。

三番叟は、式舞の三番目に舞われる演目で、蛭子命^{ひるこのみこと}が世の喜怒哀楽^{かんなんしんく}、艱難辛苦の様を舞ったものと言われています。速いテンポのダイナミックな動きと足拍子の美しい舞です。

今年度は3年生3名、2年生1名、1年生5名の計9名の少人数ですが、一人ひとりが主役になれるように練習を重ねてきました。まだまだ未熟ですが、今できる精一杯の演舞を行います。

4

天降りの舞

岳神楽保存会 会長 小国 朋身

天孫ににぎのみこと瓊々杵命あまてらすおおみかみは天照大神とよあしはらから豊葦原の中津国（日本）を代々治めるようにいわれ天鈿女命あめのうずめのみこと、天忍穗耳命あめのおしほみのみこと、天櫛津命あめのくしつのみことを供として日向の国・高千穂の峰天降りを行います。この舞は豊葦原の中津国から一行をお迎えに向かう猿田彦命さるだひこのみことと瓊々杵命ににぎのみことの使者との出会いを舞い納めたものです。

この舞の前半は、猿田彦命を中心とする勇壮な一人舞ですが、後半は四人の演者が面をはずして舞うクヅシ舞へと続く見ごたえのある演目です。

5

さんさ踊り

八木巻さんさ踊保存会 会長 佐々木 かつ子

八木巻さんさ踊りは、大正7年（1918）に内川目の向村さんさ踊りを師匠として男女で踊ったのが始まりと言われています。

当時は、男性が太鼓を担当し、踊り手はまんじゅう笠をかぶり、白地にひょうたんの模様があしらわれた衣装を着て踊っていたそうです。

6

一番庭

春日流八幡鹿踊保存会 会長 玉山 克巳

春日流八幡鹿踊は花巻市石鳥谷町八幡地区、下通り部落島岡集落の上川長蔵へ明治10年（1877）に、同町八重畑の春日流大明神鹿踊の藤根金太郎、藤根鶴蔵より伝授された民俗芸能です。以来、現在に至るまで145年余りに於いて受け継がれてきました。戦時中は踊り手が兵役に取られ、2名になったこともありましたが、現在では若い後継者にも恵まれまして、約15名程で保存伝承活動に励んでおります。

鹿踊は神舎仏閣を崇拝する芸能であり、現在でも地元八幡神社をはじめ、石鳥谷熊野神社、八重畑熊野神社、花巻神社、日居城野神社等5社の抱えジシとして毎年の例大祭に奉納しております。

平成14年には石鳥谷町の姉妹都市であるアメリカのラットランド市に招致頂き、初の海外公演を皮切りに、平成28年に台湾、平成29年にはアフリカのガーナ公演を成功させるなど、石鳥谷町の観光資源としての役割も果たしております。

郷土芸能保存団体・年度別出演団体一覧表

団体名	岳神楽	大償神楽	中乙念仏踊	折壁さんさ踊	向村さんさ踊	樋ノ口太神楽	壱沢鹿踊	壱沢神楽	八木巻神楽	旭の又神楽	岩脇神楽	合石神楽	岩脇さんさ踊	小空蔵太神楽	亀ヶ森太神楽	切牛神楽	亀ヶ森さんさ踊	樋ノ口田植踊	八木巻さんさ踊	壱沢さんさ踊	折壁神楽	金比羅神社子供会神楽	亀ヶ森田植踊	上町子ども神楽	亀ヶ森二区子供会神楽	亀ヶ森地区婦人さんさ踊	大迫高校神楽
備考(指定)	国	国	市			市			県	市		市	市														
第1回(S35)	○	○	○		○	○	○		○				○	○										○			
第2回(S36)	○	○	○		○	○	○	○	○				○	○										○			
第3回(S37)	○	○	○			○	○		○	○			○	○													
第4回(S38)	○	○	○				○						○	○													
第5回(S39)		○	○		○		○		○				○	○										○			
第6回(S41)	○	○	○		○		○						○	○													
第7回(S42)	○	○					○	○	○		○	○	○	○													
第8回(S43)	○	○	○				○		○			○			○	○	○										
第9回(S44)	○	○	○				○		○				○	○		○	○										
第10回(S45)		○	○				○						○	○	○	○	○										
第11回(S46)	○	○	○				○	○	○				○	○		○											
第12回(S47)	○	○	○				○		○				○														
第13回(S48)	○	○	○				○	○	○				○														
第14回(S49)	○	○	○				○		○			○	○							○							
第15回(S50)	○	○	○				○		○			○	○		○							○					
第16回(S51)	○	○	○				○		○				○									○					
第17回(S52)	○	○	○	○	○		○		○				○									○					
第18回(S53)	○	○	○	○	○		○		○				○												○		
第19回(S54)	○	○	○		○		○		○			○	○		○										○		
第20回(S55)	○	○			○		○		○	○		○	○		○							○		○	○		
第21回(S56)	○	○			○	○	○		○	○			○		○							○		○	○		
第22回(S57)	○	○	○	○	○		○		○				○									○			○		
第23回(S58)	○	○		○	○	○			○				○									○		○	○		
第24回(S59)	○	○			○	○	○		○	○			○												○		
第25回(S60)	○	○		○	○	○	○		○	○			○												○		
第26回(S61)	○	○	○	○	○	○	○		○	○			○												○		
第27回(S62)	○	○		○	○	○	○	○	○	○															○		
第28回(S63)	○	○	○		○		○	○	○	○															○		
第29回(H元)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○						○							
第30回(H2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○										○		
第31回(H3)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○									○		
第32回(H4)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○										○	○	
第33回(H5)	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○		○										○	○	
第34回(H6)	○	○	○	○			○		○	○		○	○		○										○	○	
第35回(H7)	○	○	○	○		○	○		○	○		○	○		○									○	○	○	
第36回(H8)	○	○	○	○			○		○	○		○	○		○										○	○	
第37回(H9)	○	○	○	○		○	○		○	○		○	○		○										○	○	
第38回(H10)	○	○	○	○			○		○	○		○	○		○										○	○	
第39回(H11)	○	○	○				○		○	○		○	○		○										○	○	
第40回(H12)	○	○	○				○		○	○		○	○		○										○	○	
第41回(H13)	○	○	○				○		○	○		○	○		○										○	○	
第42回(H14)	○	○	○				○		○	○		○	○		○										○	○	
第43回(H15)	○	○	○				○		○	○		○	○		○										○	○	
第44回(H16)	○	○	○				○		○	○		○	○		○										○	○	
第45回(H17)	○	○	○				○		○	○		○	○		○										○	○	
第46回(H18)	○	○	○				○		○	○		○	○		○										○	○	
第47回(H19)	○	○	○				○		○	○		○	○		○										○	○	
第48回(H20)	○	○	○				○		○	○		○	○		○										○	○	
第49回(H21)	○	○	○				○		○	○		○	○		○										○	○	
第50回(H22)	○	○	○				○		○	○		○	○		○										○	○	
第51回(H23)	○	○	○				○		○	○		○	○		○										○	○	
第52回(H24)	○	○	○				○		○	○		○	○		○										○	○	
第53回(H25)	○	○	○				○		○	○		○	○		○										○	○	
第54回(H26)	○	○							○	○		○	○		○										○	○	
第55回(H27)	○	○							○	○		○	○		○										○	○	
第56回(H28)	○	○							○	○		○	○		○										○	○	
第57回(H29)	○	○							○	○		○	○		○										○	○	
第58回(H30)	○	○							○	○		○	○		○										○	○	
第59回(R元)	○	○							○	○		○	○		○										○	○	
第60回(R4)	○								○	○		○	○		○										○	○	